

浜岡原子力発電所の安全対策について（要請）

このたびの東日本大震災により、全国各地に深刻な事態が発生しています。

地震の規模が想定を超えたものであったとはいえ、特に、東京電力福島第一・第二原子力発電所において発生した事故とその後の原子力災害の推移を見ると、これまでの原子力発電所の安全に対する信頼は崩れ去ったといわざるを得ません。

長い間、東海地震の発生の可能性が指摘されている静岡県内においては、浜岡原子力発電所の安全対策への関心が急激に高まってきており、貴社には、安全対策に対する誠実な対応が求められています。

貴社が政府の要請を受け入れ、浜岡原子力発電所のすべての原子炉の運転を停止したことは評価できます。しかしながら、停止したことだけでは安全性が確保されたとはいえ、引き続き、万全な安全管理が必要です。

つきましては、住民の不安を取り除くためにも、次の事項について強く要請します。

- 1 運転を停止した原子炉及び使用済み核燃料を安全に冷却するなど、施設等に対する一日も早い徹底した安全対策を行うこと。
- 2 万一の事故が発生した際に影響を及ぼすと考えられる地域の自治体・住民に対して、安全対策について十分な説明をすること。
- 3 万全な安全対策が取られない限り、中部電力浜岡原子力発電所の再稼働しないこと。

平成23年6月6日

中部電力株式会社

代表取締役社長 水野明久 様

静岡県島田市議会議長 中野浩二